

## 「日本語教育の参照枠」における評価の考え方について（案）

1. 「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の理念
  - (1) 日本語学習者を社会的存在と捉える
  - (2) 言語を使って「できること」に注目する
  - (3) 多様な日本語使用を尊重する
  
2. 「日本語教育の参照枠」における言語能力観と評価
  - (1) 総括 (evaluation) と評価 (assessment)
  - (2) なにを測るのか (日本語能力とは何か)
    - ・ 一般的能力とコミュニケーション言語活動, コミュニケーション言語能力, 方略
  - (3) どう測るのか (多様な評価の在り方)
  
3. 評価 (assessment) の「妥当性」「信頼性」「実行可能性」
  
4. 評価のためのリソースとしての「日本語教育の参照枠」
  - 日本語能力の熟達度評価に「日本語教育の参照枠」を用いるメリット
    - ・ 試験内容を特定する際に活用できる
    - ・ 学習対象の到達度の基準 (ものさし) を決める際に活用できる
    - ・ 異なるテスト間の比較が可能になる
    - ・ 学習者が自身で言語能力の目標設定や評価ができるようになる
    - ・ 国や機関を超えた共通の日本語能力評価ツールとして活用できる
  
5. 評価の種類と「日本語教育の参照枠」
  
6. 日本語の大規模試験と「日本語教育の参照枠」との関連付け方法
  
7. 社会で活用される日本語能力の水準を判定する大規模試験に求められる要素について